

JA経営マスターコース 沿革

大正 15年 4月 産業組合中央会附属産業組合学校開校（1学年制・30名）

昭和 23年 8月 財団法人協同組合学校に改組

30年 4月 学校法人協同組合短期大学に昇格・開校（2学年制・40～80名）

44年 9月 中央協同組合学園に改組し開校（3学年制・50名）

平成 11年 2月 JA全国教育センター設立

11年 4月 JA経営マスターコース開講

令和 4年 4月 JA全国教育センターおよびJA経営マスターコースを大手町JAビルへ移転

募集要項

受講対象者	原則として、JAの職能資格3～6等級（9等級モデル）の職員（20歳代後半から30歳代後半）
教室	JAビル27F（東京都千代田区大手町1-3-1）
寮（希望者）	ドーミー葛西（東京都江戸川区中葛西3-36-2 他社との合同寮）ほか
受講申し込み手続き	所定の「受講申込様式（小論文を含む）」により、JA都道府県中央会会長の推薦を経て、本会宛に申し込み。
募集人員	40名

マスターコースの種類と受講費用

多様な研修ニーズに対応するため、通期コース、簿記会計法務座、後期コースを用意しています。

	監査士試験学習 （4～8月）	経営学学習・論文執筆 （9～3月）	講座料 （教材費含む・消費税込）
通期コース	○	○	2,341,000円
簿記会計法務講座	○		1,079,000円
後期コース		○	1,526,000円

※別途、寮費・定期代が必要になります。

JA全中 教育部 JA経営人材育成課

（JA経営マスターコース事務局）

〒100-6837 東京都千代田区大手町1-3-1 JAビル
TEL.03-6665-6121 FAX.03-3217-5071 Eメール:master.s@zenchu-ja.or.jp



耕そう、大地と地域の未来。 JAグループ

課題と向き合い 新しい未来を創る



JA経営マスターコースのご案内

マスターコース生は 10年後の大きな戦力



カリキュラムの考え方

JA 経営マスターコースは、JAの基幹的人材（＝将来のJA 経営層）を育成することを目的としています。前期にはJAグループ最難関の試験である農協監査士試験の学習により、徹底的に知識を習得します。よりよい学習環境整備のため、仲間づくりに資するプログラムも随所に入れていきます。後期には協同組合であるJAを経営するために必要な考え方や理念と、それを実現するための経営学を中心的に学びます。その他にも、企画管理部門に求められる会計や管理等のスキルにも磨きをかけます。後期の終盤には自JAの改革提案である修了論文をはじめとし、改革を起こすための様々な訓練を積んでいきます。マスターコース生には、これら一連の研修を通じて涵養された志を胸に、強い絆で結ばれた全国の仲間と共に10年後のJAグループを背負う存在となっていただくことを期待しています。

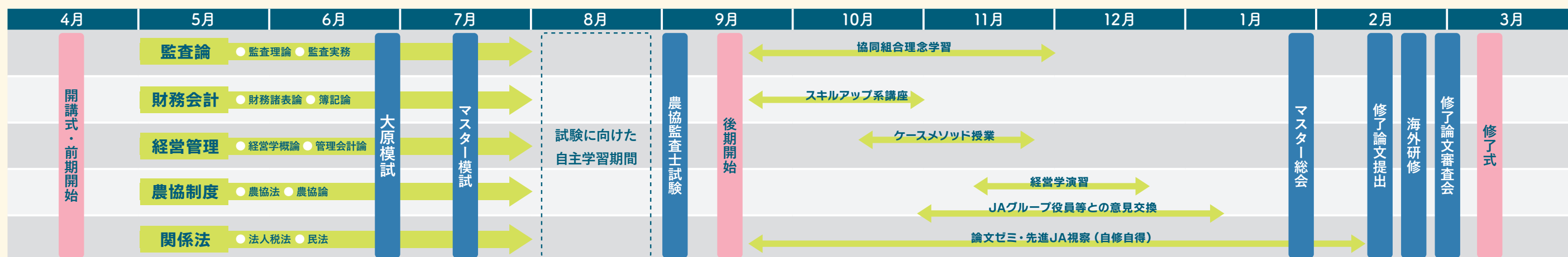
監査士試験について

マスターコースでは、毎年高い合格率を保っています。多くの受講生は初学の状態を受講をはじめますが、経験豊富な講師陣による丁寧な講義や、理解促進のための様々なサポートにより、約5か月という短期間で合格を狙える水準まで引き上げるノウハウがあります。また、監査士試験への挑戦は後期学習のための土台作りとも言えます。

修了論文について

後期の最終アウトプットとして、実証的かつ具体的な自JAの改革提案である、修了論文の執筆を課しています。執筆にあたっては令和5年度よりゼミ制度を導入しており、各自の問題意識を基に、ゼミ講師からの継続的な指導を受け、より高度な論文を作成いただける体制を整えました。自JAの未来について真剣に考え抜くことを通じて、論理的思考力や課題解決力など様々な能力を鍛えることができます。

マスターコースの1年の流れ



学習環境



マスターコース教室

- JAビル27階に専用の教室を構えています
- 見晴らしがよく、開放感ある空間で学ぶことができます（東京スカイツリーや皇居、東京ドーム等が見えます）



ベンチャー企業演習でのプレゼンの様子です

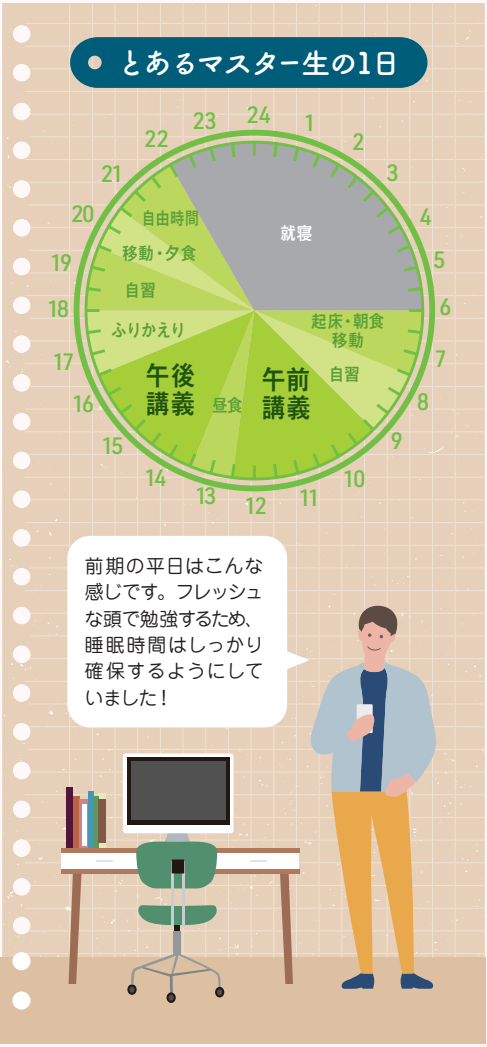
プレゼンスキルを磨く研修も、複数組み込んでいます



学習班での講義

ふりかえりの様子です

講義を聞きっぱなしにせず、グループで共有することで理解促進がはかれます

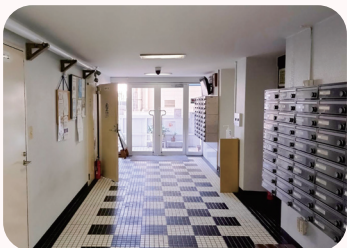


生活環境



ドミー葛西

- 一般向け社員寮であるドミー葛西の一部をマスター生用におさえてあります
- オートロック・防犯カメラつきなので女性でも安心です



時には、マスター生同士集まって楽しく語らうことも

※部屋の間取りや設置家具については、居室によって若干異なる場合があります。

Acces 寮からJAビルまでの交通ルートについて



*「寮」から「教室」までの移動時間は、全体で約35分です。
*「寮」は「ドミー葛西」を手配していますが、人数が多い場合は、同地域にある他の独身寮となります。

東京メトロ「東西線」
葛西駅～竹橋駅約20分

全国各地で活躍中！

第5期

JA北ひびき
常務理事
吉井正博さん



今 から20年以上前、翌年に5JAの合併を控えた2003年に、39歳で参加しました。それまで北海道から出たことがなく、東京での研修に不安と緊張もありましたが、「よい機会をもらった」と胸が高鳴ったことを覚えています。

JA経営マスターコースで得られる一番の財産は「人」だと思っています。全国に仲間ができることで、情報やアイデアを得られ、連携にもつながります。JA北ひびきでは、道外のJAの直売所で農畜産物を販売する提携をしています。この施策も、マスターコースでのつながりから生まれたものです。

1年間じっくり経営学を学んだ修了生は、JAの経営課題解決に大いに活躍しています。当JAでは、営農型・純農村型のJAとして、農産物の付加価値向上へプロジェクトを進めていますが、修了生は会議を牽引する役割を担ってくれています。

これから参加する人には、ぜひ、しっかり全国に仲間をつくり、JAを盛り上げる新たな火種となしてほしいと期待します。

第8期

JAおきなわ
総合企画部 部長
外間敬章さん

J A経営マスターコースの後期を受講したのは、私が30代後半のことでした。年齢的には同期の中でも上位3位に入るほどで、若い仲間たちとは少々年齢が離れていましたが、それでも夜な夜な熱く語り合った楽しい記憶が今でも鮮明に蘇ります。

後期の研修は前期とは一線を画すもので、座学からディスカッション中心へとシフトします。明確な答えが示されないディスカッションに最初は戸惑い、自分の考えを言葉にするのに四苦八苦しました。しかし、そのプロセスこそが私の思考力と表現力を鍛えてくれたのです。また、大学の教授や企業から招かれる講師陣の講義は、JAグループの枠を超えた新たな視点を提供してくれました。それはまさに、目からウロコの経験でした。

現在私は総合企画部に所属し、資産運用やリスク管理を主に担当しています。ここでは、前期で学んだ知識は当然のことながら、その上で「提案力」が非常に重要です。私がマスターコースで培ったプレゼン資料の作成技術や、言葉での効果的な伝え方は、日々の業務で大



きな武器となっています。実際、修了後は、企画提案が以前よりも通りやすくなったと感じています。

特に県域JAでは、高度な経営知識を持つ人材が多く求められます。このような専門知識と技術を集中的に学べる研修は他に類を見ないので、是非とも多くの職員に受講してほしいと思います。マスターコースは、ただの学びの場ではありません。それは自己成長の舞台であり、組織全体のレベルアップを目指すための貴重な経験です。

第14期

JAとびあ浜松
営農販売部 営農販売課 課長
山下智子さん



入 組してからずっと営農指導員をしてきたこともあり、前半の監査士の勉強には苦労しました。周りの同期と比べて遅れを感じて、人生で一番というぐらい、とにかく必死で勉強しました。つらかったこともありますが、みんなで勉強を教え合い、監査士合格という同じ目標に向けて一体になって勉強する環境がとても新鮮でした。営農部署だけにいたのでは学べない会計や税務、法務等の知識も身に付き、現在でも、販売契約のリーガルチェックなど仕事に役立っています。

当時の研修会場であったJA全国教育センターの周りにはあまり店がなく、買い物をするにも一苦労でしたが、時々、同期に車を出してもらって買い物に行くのが楽しみでした。今でも同期とは、仕事や部下への指導などいろいろ相談に乗ってもらう仲です。マスターコースを乗り越えて得たのは、ずばり「監査士（資格・知識）」と

「同士（同期）」です。

女性よりも男性をマスターコースに送り出すJAが多い中、学ぶ機会をいただきありがたかったです。ぜひ、多くのJAからマスターコースに女性職員を送り出してあげて欲しいと思います。

第25期

JA兵庫六甲
企画管理本部（経営企画）
田中雄隆さん



東 京・大手町にあるJAビルに拠点が移ったことにより、これまであまり接点のなかった、JA全中やJA全農など全国連の方から話を聞くことができ、それが貴重な経験になりました。また、講義のあるなしに関わらず、JAビルに仲間が集まり、その中で情報交換できたことは、自分の財産になったと感じています。当JAを含め、都市型JAでは信用・共済事業が収益の中心ですが、マスターコースで改めて「農業協同組合とは何か」について学んだり、他JAの仲間との交流することで、JAの本来の強みや目的を再確認することができました。そのため、都市型JAの職員には特に受講をお勧めしたいです。

論文ゼミや経営診断演習を通して、徐々に物事を俯瞰的に見て論理的に考えるようになりました。受講前と比べると、JA全体のことを考え、外部環境を踏まえながら業務ができるようになったと感じており、マスターコース

での経験が力になっていると実感しています。

葛西の寮は、一人一部屋で、プライベートは確保されつつ、近くにはいつも仲間がいるので直接会って相談もでき、オンオフの切り替えができる良い環境でした。また、家族が応援してくれ、帰省時にリフレッシュできたことも力になりました。